

2024年 この1年を振り返って

令和6年12月20日
京都府広報課
電話 075-414-4070

1. 重大ニュース

令和6年能登半島地震の発生、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表

1月1日の能登半島地震発生を受け、府・市町村等から警察や消防、災害派遣医療チームをはじめ、応急対策職員派遣制度に基づく職員派遣など3,700名以上の職員を派遣し、被災地の支援に当たるとともに、その教訓も含め、地震対策の見直しに着手。また、8月8日には、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が初めて発表された。

2. ダイジェスト

京都府危機管理センターの運用を開始

自然災害や大規模事故等の発生時に危機管理の拠点となる常設の危機管理センターを整備し、3月から主要機能の運用を、7月から全面運用を開始。

より高いレベルの府市協調へ！「府市トップミーティング」を開催

「より高いレベルの府市協調」を目指し、その時々課題や社会的要請を踏まえた府市協調施策について松井新市長と議論する「府市トップミーティング」を3回開催。周遊観光「まるっと京都」の実施や、府立・市立高校が一堂に会する「京都探究エキスポ」の開催、「(仮称)京都半導体バレー構想」骨格案の作成などを早期に実現。

京都府立植物園 開園100周年！四季折々で様々な事業を実施

開園100周年記念イヤーと銘打ち、1月の観覧温室「ラン室」のリニューアルオープンを皮切りに、10月には秋篠宮皇嗣同妃両殿下に御臨席いただき記念式典を挙行するなど、年間を通じて様々な事業を展開。記念イヤーのフィナーレとして、光と音と植物が織り成すアートイベント「LIGHT CYCLES KYOTO」を10月から開催。

Music Fusion in Kyoto 音楽祭 開催

国内外で活躍する音楽家による府内各地での室内楽コンサートや、府内小中学校等へ訪問し鑑賞・指導を行う教育プログラムを実施。

「親子誰でも通園モデル事業」を開始

子育て世代の不安や負担軽減のため、国の「こども誰でも通園制度」のオプションとして、保育所等に「親」も一緒に通園し、保育士等による「親育ち」支援を行う京都府独自の「親子誰でも通園モデル事業」を開始。

精神障害者に係る医療費助成制度を創設

重度心身障害者医療助成制度及び重度心身障害者老人健康管理事業について、精神障害の方々を対象とした医療費助成制度を8月に創設。

「京都企業人材確保センター」・「京都お仕事相談窓口」を開設

「京都ジョブパーク」「京都府テレワーク推進センター」「京都府生涯現役クリエイティブセンター」の企業支援部門を統合した「京都企業人材確保センター」と、求職者、在職者のニーズに合った最適な支援機関や制度を紹介する「京都お仕事相談窓口」を開設。

(一社) セイラーズ フォーザシー日本支局と包括連携協定を締結

海洋資源の持続的かつ有効な利用を図ること等を目的として、(一社)セイラーズフォーザシー日本支局と包括連携協定を締結し、「ブルーシーフードガイド京都府版」を発行。

京都丹後鉄道宮津線(西舞鶴～宮津間)開業100周年

宮津線(西舞鶴～宮津間)が1924(大正13)年4月に開業してから、今年で100年を迎えたことを記念して、『丹鉄フェスティバル2024』など100周年記念事業を実施。

府立大学と府教育委員会が系属高校(2校)に関する協定を締結

農林分野に関する学術研究の推進並びに京都府における農林業及び関連産業の振興に資する人材の育成に寄与するため、京都府立大学と京都府教育委員会において、高度に連携する「系属高校」に関する協定を締結。

番外編

「IVS2024 KYOTO」を開催

国内最大規模の国際スタートアップカンファレンス「IVS」を2年連続で開催し、昨年を上回る約12,000人が参加。京都スタートアップエコシステムの構築をさらに推進。

京都府ゆかりの選手がパリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会で活躍

2024パリオリンピックフェンシング男子フルーレ団体で飯村一輝選手(京都きっす修了生)が金メダルを獲得。オリンピック・パラリンピック競技大会で活躍された京都府ゆかりの選手に「京都府スポーツ賞」を授与。